

目次

□巻頭言 他山の石最上 武雄/1
 エネルギー問題を考える富岡 馨/3
 水資源を考える堤 泰彦/9
 高速道路の現況と将来桂木 睦夫/16
 国鉄における磁気浮上鉄道の開発宮崎 邦夫/25
寺本 紀彬
 セミサブマージブルシステムの海洋開発への応用佐竹 優/31
 □随想 或る日大塚 全一/36
 建設機械の設計と研究——主として産学協同について伊藤 廣/39
 最近の地震災害の傾向とその教訓栗林 栄一/44
 昭和 53 年度建設機械展示会（大阪）見聞記田中 康之/50

グラビヤ——昭和 53 年度建設機械展示会（大阪）

昭和 53 年度建設機械と施工法シンポジウム田中 康之/53

□建設機械の現状

3. 基礎工事事用機械

3.1 くい打ち機芳賀 孝成/56
 3.2 場所打ちくい施工用機械三枝 和夫/60
 3.3 地下連続壁施工用機械加納 進/64
 3.4 地盤改良用機械千田 昌平/67

□新機種ニュース調査部会/72

□整備技術

アメリカの建設機械カレッジ——OIT について (2)
整備技術部会/76

□ISO 規格紹介

建設機械の安全性の必要条件および
 居住性に関する ISO 標準規格 (13)-2ISO 部会/78

□統計

建設工事費デフレータ等建設関連統計調査部会/82
 理事会の開催/83
 行事一覧/84
 編集後記(酒井・折橋・林)/86

◀表紙写真説明▶

P & H 全旋回式クレーン船

株式会社 神戸製鋼所

今年度の海洋関係大型公共予算は港湾工事をはじめ 200 カイリ時代を迎えて沿岸漁場の整備等多くの工事が着々と進められている。

当社では P & H ブランドの全旋回式クレーン船のシリーズ化をはかり、テトラポッドの据付、魚礁の設置等のクレーン作業を能率的に処理している。さらにアタッチメントの追加でくい打ち作業、クラムシェル作業も可能である。機種は 54t ぶり (FD-400)、80t ぶり (FD-600)、100t ぶり (FD-900)、150t ぶり (FD-1200) を揃え、あらゆる作業にその威力を発揮する。